

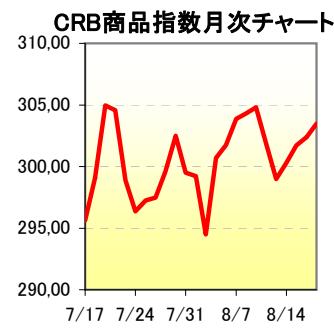
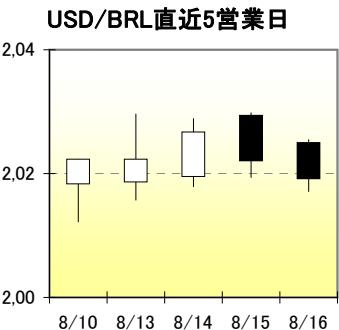
Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A



1. マーケット・レート

			8月10日	8月13日	8月14日	8月16日	8月17日	Net Chg
Forex	USD/BRL	Spot	2,0150	2,0220	2,0270	2,0190	2,0150	-0,0040
	USD/YEN	Spot	78,27	78,35	78,76	79,28	79,54	+0,2600
	EUR/USD	Spot	1,2293	1,2333	1,2327	1,2362	1,2321	-0,0041
	BRL/YEN	Spot	38,84	38,75	38,86	39,27	39,47	+0,2000
Swap	Dollar Clean	6MTH(p.a.)	1,41	1,44	1,79	1,54	1,56	+0,0228
		1Year(p.a.)	1,70	1,30	2,40	1,91	1,92	+0,0107
	Real Interest	6MTH(p.a.)	7,30	7,30	7,33	7,27	7,25	-0,0200
		1Year(p.a.)	7,47	7,46	7,46	7,49	7,50	+0,0100
Stock	Bovespa		59.281	59.123	58.083	59.446	59.082	-363,42
Bond	CDS Brazil 5y		127,35	127,35	127,33	127,44	128,83	+1,3950
	Global 40		129,125	129,500	128,125	129,000	128,675	-0,3250

* これらはインバング市場等におけるブラジル市場終了時のインデイケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィcerまでお問い合わせ下さい。



2. 主要経済指標

3. 要人コメント

イベント	予想	実績	前回	マニテガ伯財務相	Selic政策金利の利下げは不可欠
FIPE消費者物価指数(週次)	0.20%	0.21%	0.16%		
経済活動指数(前月比/季調済)	0.60%	0.75%	-0.01%		伯成長率が加速してもイ
経済活動指数(前年比/季調前)	0.95%	0.99%	1.09%	トンビニ伯中銀総裁	ンフレはレンジ内に収まるであろう

4. 週間市況、トピックス

- 今週の為替相場は U\$1=R\$2.0190 で寄り付いた。
- 夏休みシーズン入りの影響で市場参加者が限られる中、レアルは週間を通して限定的なレンジ内での推移となつた。
- 週初は材料に乏しくポジション調整と思しき動きが見られたが、レアルは 2.02 台後半を中心に小幅な値動きとなつた。
- 週末にかけては週間安値となる U\$1=R\$2.0300 を付けた後、伯小売売上高指数が発表され、市場予想を大きく上回ったことでレアルは急反発した。更に伯正規雇用者数も市場予想比良好であったことを受けてレアルは 2.0200 を上抜けて続伸した。
- 市場から期待が薄まっていた伯経済成長率が予想を超えたことに加え、17 日には伯経済活動指数も市場予想を上回り、レアル買いが引き続き優勢となった。レアルは週間高値となる U\$1=R\$2.0150 を付けて、結局同水準で越週した。

当資料は相場情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断でなさるようお願い致します。当資料は信頼できる情報源から得た情報に基づき作成したものですが、その情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料は執筆者の見解に基づき作成されたものであり、弊社の統一された見解ではありません。当資料を使用することにより生ずるいかなる種類の損失についても弊社は責任を負いません。

Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A



5.来週発表される主要経済指標

日付	イベント	予想	前回
8/20	FGVインフレ率-IGP-M(プレビュー)	1.30%	1.21%
8/20	貿易収支(FOB)-週次	--	\$1098M
8/22	IBGE CPI IPCA-15(拡大/前月比)	0.36%	0.33%
8/23	FGV CPI IPC-S	--	0.39%
8/23	失業率	5.8%	--
8/23	経常収支(月次)	-\$3730M	-\$4419M
8/23	対内直接投資	\$7000M	\$5822M
8/24	FGV消費者信頼感	--	121.6

6.来週の為替市場注目点

予想相場レンジ : 2.00~2.04

今週も夏休みシーズンの関係で市場参加者が少なく値動きが限定的となった。週末にかけて発表された伯小売売上高や正規雇用が予想を大きく上回ったことをきっかけに、レアル買いの復活が見られた。更に、予想外に強い国内経済を受けて今後の政策金利の利下げペースが注目されるであろう。来週は欧米において注目指標が数多く発表される一方、為替市場では流動性が低く止まることが予想され、引き続き予期せぬサプライズによる荒い値動きには注意が必要であろう。